

広がるレジ袋削減の取組

小売店舗が購入した品物を持ち帰るために用意する袋であるレジ袋。プラスチック製が多く、大きさも形状や色も多様で非常に便利なものですが、大量のごみの発生、貴重な石油資源の浪費につながっています。また近年では、EUなどにおいては、海洋の生物への影響も問題視されています。

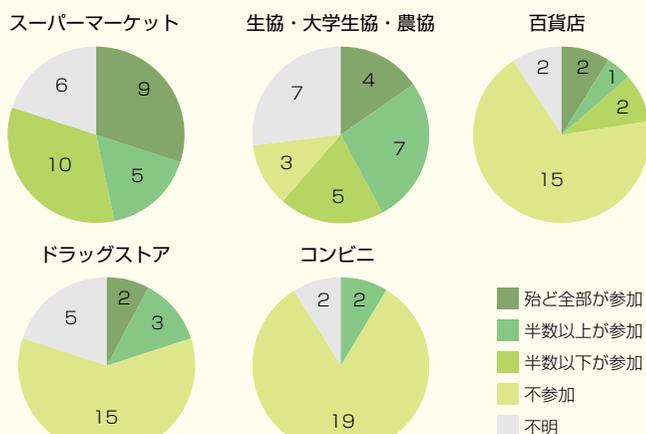
レジ袋は、消費者の日常の暮らしに非常に身近な存在であるとともに、消費者次第で削減をすることができる容器包装であり、レジ袋削減は、容器包装のリデュースをはじめとする環境意識の向上に大きな効果があると期待できます。

こうした中、容器包装リサイクル法に基づく取組、自主的な取組など、様々なレジ袋削減の取組が進められています。自治体でもレジ袋の削減が広がっています。

■ 協定締結によるレジ袋有料化実施状況



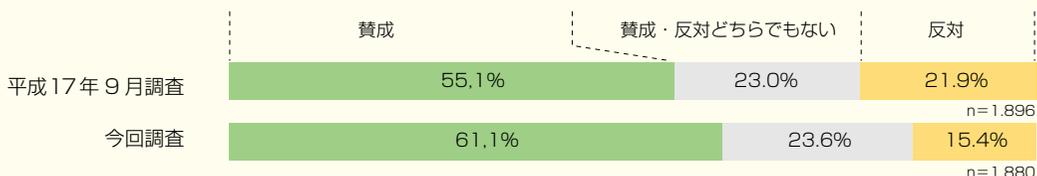
■ レジ袋有料化の取組への参加状況（都道府県）【件数】



(出典) 環境省資料 (平成26年2月1日現在)

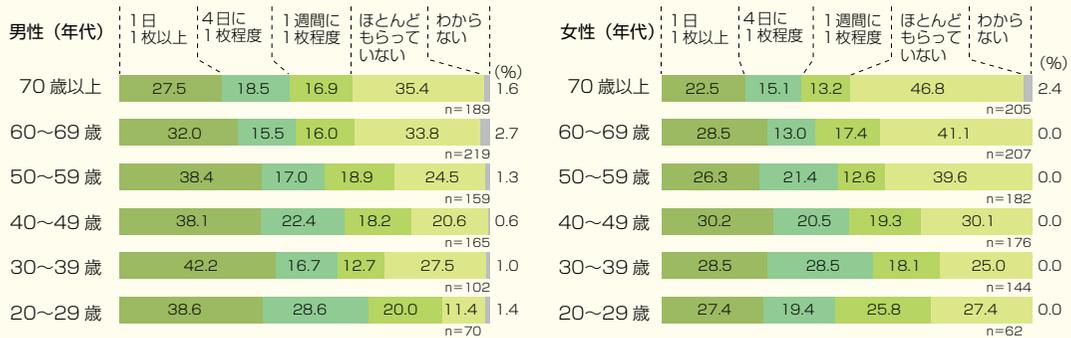
消費者においても、レジ袋削減に対する意識が向上しています。

■ レジ袋無料配布禁止についての賛否



(出典) 循環型社会形成に関する世論調査 (平成26年6月内閣府調査)

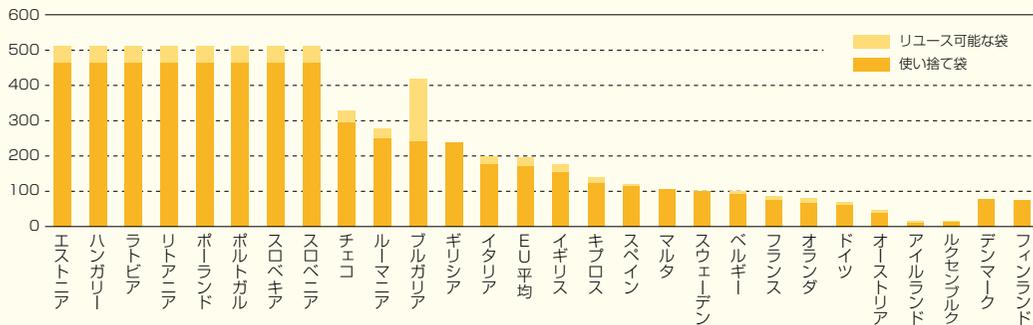
■レジ袋をもらう頻度



(出典) 循環型社会形成に関する世論調査(平成26年6月内閣府調査)

海外においても、レジ袋削減のために各国で様々な取組が進められています。近年の例としては、EUにおいて、加盟国に対してレジ袋の有料化または具体的な削減目標の設定を義務づける指令の策定などの検討が進められています。

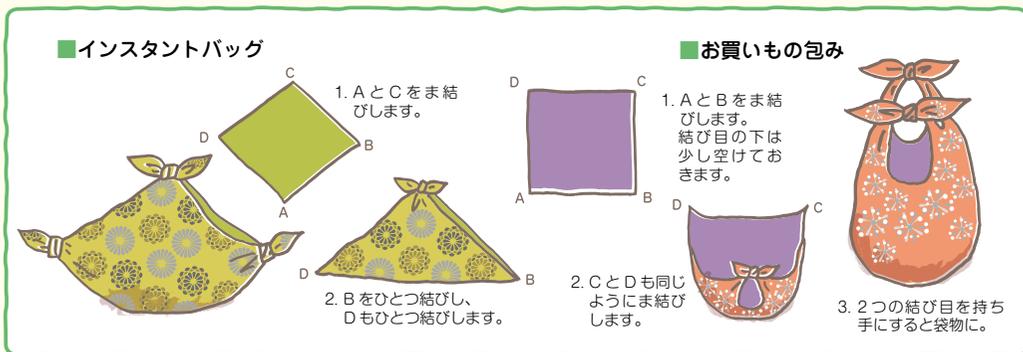
■EU加盟国における2010年もしくは直近年のレジ袋使用量(枚/人/年)



(出典) 欧州委員会

レジ袋に替わる買い物袋として、「エコバッグ」が普及しています。

参考に、日本古来のふろしきを活用したエコバッグの例を紹介します。



(出典) ふろしき研究会 <http://homepage3.nifty.com/furoshiki/>